

## 平成29年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果 (平成30年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成29年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成30年3月

総務部長 櫻本 宏

項 目	実 施 結 果
<p><b>1 人口減少に歯止めをかける徹底戦略</b>  <b>◇進学・就職の地元志向にインセンティブ【部局連携】</b>  <b>○大学生をもっと県内に</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携センター「Fスクエア」において行われる、県内大学が連携した地域志向科目の共通開講などについて、大学の自主的な運営により行われるよう支援します。</li> <li>・県内大学との協定に基づき、効果の検証に努めながら、高大連携事業の実施、地元受け入れ枠の拡大等を進めることにより、県内進学・就職増を図ります。</li> <li>・合同就職面接会を労働局とともに集中的に開催し、福井のものづくり企業の魅力や暮らしやすさをPRします。また、大学連携センターにジョブカフェの学生への就職支援機能を移し、早期の就職意識付けと県内企業への就職を促進します。 (平成28年度 50.2%)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>県内大学生（学部）の地元就職率</b> 平成30年3月卒 52.0%</p>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>地域志向科目について、昨年度より3科目増となる33科目を開講（履修者1,263人（67人増））し、企業経営者から学ぶ講義などを通して、福井の魅力や県内企業の特徴への理解を深めました。センターを、夏休み期間中を含めた年間約300日間開放し、約13,000人の学生、教員等が利用しました。</p> <p>高校生向け合同進学説明会（8月）、県内大学進学アドバイス講座（3月）を実施し、119人が県内大学等への理解を深めました。          県立大学が地元推薦枠を拡大し、29年度は105人（前年比19人増）の地元高校生が入学しました。他大学等に対しても、地元受け入れ枠の新たな設定や拡充の検討を要請しました。</p> <p>H29年4月、大学連携センター内にふくいジョブカフェの学生向け機能を移転し、総合就活支援窓口（キャリアナビセンター）を開所しました。「しごとカフェ」（18回）、ワンポイント企業PR（5社）、企業PRパネル展示（54社）を実施し、県内学生の地元定着を促進しました。</p> <p>学生の地元就職については、雇用情勢が回復し都市部の大企業の採用意欲が強まっており、県内大学への県外企業からの求人が増加しています。          地元就職率を高めるには、大学連携センターの共通講義に本県の産業や企業の強み、魅力を具体的に理解できる内容を盛り込むことが重要であり、県内大学や産業界と連携しながらその充実に努めていきます。また、県内の各大学がそれぞれのキャンパス等において行う、入学生の確保や地元就職を促進する活動を積極的に応援していきます。</p> <p style="text-align: center;"><b>県内大学生（学部）の地元就職率</b> 平成30年3月卒 49.0%（見込）</p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>2 福井から人材育成</b>  ◇地元大学の役割を拡充  ○県立大学の充実と地元貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源を活かした授業など、現場から学ぶフィールドワークや県内企業人等を講師に招く地域志向科目を充実します。</li> <li>・海外留学を促進するため、海外交流協定校との連携や学生への情報提供の強化など、留学しやすい環境づくりを進めます。  (平成28年度 96人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>県立大学生の海外留学者数 120人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の「トビタテ！留学JAPAN」制度を活用し、地元の協力企業と連携して実践型海外留学制度を創設し、地元企業に関心の高い学生を海外に派遣します。  (平成28年度 ー)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>「トビタテ！留学JAPAN」制度  活用留学生数 15人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴講生および科目等履修生の受講料等の負担軽減を図ることにより、県民の学び直しを支援します。  (平成28年度 19人)</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>聴講生および科目等履修生の数 80人</b></p>	<p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>実践的な知識や技能を学んだ地域人材の育成を図るフィールドワークや地域特別講義を実施し、1,001人の学生が受講(昨年度比163人増)しました。また、県内企業の経営者等11人を講師にした特別講座を開講(履修者197人)し、県内の経済活動やワーク・ライフ・バランスの取組みなどを実務経験者から直接学びました。</p> <p>県立大学として初めて学術交流協定を締結した米国の大学(フィンドレー大学・オハイオ州)から看護分野の学生1人を受け入れました。また、交換留学生として、米国に経済学部学生1人を約9か月間、看護福祉学部学生3人を約2週間派遣しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>県立大学生の海外留学者数 76人</b></p> <p>地元の協力企業16社と連携して実践型海外留学支援を行うなど、「トビタテ！留学JAPAN」制度を活用し、9人の学生を海外に派遣しました。</p> <p>学生の海外留学については、相次ぐテロ事件等の影響により、学生や保護者の留学に対する意欲が低下する状況となっていることが考えられます。</p> <p>県立大学の国際交流室と連携・協力しながら、海外での活動やプログラムを入念に組み立てることへのアドバイスのほか、海外留学費用への支援の充実を図ることにより、学生が安心して留学できる体制を整えていきます。</p> <p>「トビタテ！留学JAPAN」については、連携する地元の協力企業数を拡大に努めていきます。</p> <p style="text-align: center;"><b>「トビタテ！留学JAPAN」制度活用留学生数 9人</b></p> <p>平成29年度から受講料を従来の半額以下に軽減するなど、県民の学び直しを支援し、聴講生および科目等履修生は83人となり、昨年度の4倍以上に増加しました。</p> <p style="text-align: center;"><b>聴講生および科目等履修生の数 83人</b></p>
<p><b>3 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略</b>  ◇「恐竜溪谷100万人構想」の実現【部局連携】  ○恐竜学研究の世界拠点へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国など国内外の研究機関等との連携により、恐竜学研究所において新たな共同研究や恐竜学分野の人材育成を進めます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県立大学恐竜学研究所が中国の研究機関等との共同により、中国内モンゴル自治区において5年間にわたる恐竜化石の発掘調査を開始しました。今年度は9月に予備調査を行い、今後の重点調査地域を決定しました。</p> <p>また、恐竜などの古生物学の研究者を育成するため、平成30年度から、県立大学大学院の生物資源学研究科に、「古生物学」分野を追加し、3名の入学が決定しました。</p> <p>29年度は、県立大学での恐竜学関連の講義を12講座開講し、野外恐竜博物館を活用したフィールドワーク講座を含め約775人の学生が受講しました。</p>

項 目	実 施 結 果
<p>4 幸福実感、誇りを生み出す「ふるさと政策」</p> <p>◇市町と共働の「新ふるさと」づくり【部局連携】</p> <p>○市町振興プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度で完了する「ふるさと創造プロジェクト」を着実に推進し、市町の地域資源を活用した地域づくりを支援します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>越前市では和紙を生かした産業観光を推進する紙の文化博物館、美浜町では古民家を活用した里山体験施設、おおい町ではきのこの森を整備しました。全市町において事業が完了し、全国に誇りを持って発信できる地域づくりが進められました。</p>
<p>○地方創生・人口減少対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『新ふるさと創造』推進事業により市町独自の拠点整備やブランド発信を支援し、高速交通開通アクション・プログラムや周遊・滞在型観光推進計画に位置付けた施策や活動と連動させ、県と市町が一体となったふるさとづくりを進めます。 <b>交流拡大施策</b></li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>今年度、越前市、池田町、南越前町、若狭町を新たに加え、現在10市町におけるプロジェクトを着実に進めています。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成29年度新規プロジェクト</p> <p>越前市 「打刃物拠点整備事業」</p> <p>池田町 「合宿施設魅力化事業」</p> <p>南越前町 「河野暮らしの拠点施設整備事業」</p> <p>若狭町 「熊川活性化事業」</p> </div>
<p>○集落対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の集落の現状と課題を把握し、地域のつながり力の強化とにぎわい創出を目的とする「福井ふるさと茶屋」の整備を進めるほか、集落機能の維持を図るための施策を検討します。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>今年度は新たに3地区において「福井ふるさと茶屋」の整備を支援し、11地区で活動を行っています。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成29年度新規地区</p> <p>勝山市 遅羽（おそわ）地区</p> <p>越前市 白山（しらやま）地区</p> <p>南越前町 今庄宿（いまじょうしゅく）</p> </div> <p>集落機能の維持・活性化を図るため、県内全集落を対象に集落実態調査を実施しました。調査の結果、活動の担い手不足、集落活動の停滞などの課題が明らかになりました。</p> <p>こうした課題解決のため、新年度当初予算において新たに「集落活性化支援事業」「新福井ふるさと茶屋支援事業」を設け、市町がそれぞれの実状に応じて独自に行う集落活性化策を支援し、市町とともに集落活動の維持・活性化を進めます。</p>

項 目	実 施 結 果
<p><b>5 行財政構造改革</b>  <b>◇質の高い政策をめざす県政</b>  <b>○職員の学ぶ場の拡大</b>  ・職員が職種、職場を越えて、自由なテーマで大いに勉強し、議論するグループを支援し、学びの場を広げます。  (平成28年度 22グループ)</p> <p style="text-align: center;"><b>自主研究グループ数 25グループ</b></p> <p>・職員が、先輩職員（メンター）から、これまでの経験や知識を学び、仕事の進め方の改善につなげます。  (平成28年度 ー)</p> <p><b>メンターからアドバイスを受けた職員数 60人</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>若手職員の自主研究グループについては、県や市町、民間企業、学生などを交え、昨年度を上回る28グループ、216人が参加しました。福井の観光地をPRするVR（バーチャルリアリティ）動画の作成や、子育てしやすい住宅の検討・プラン作成などを通じて、職種や職場を越えて議論し、参加者の視野や人脈を広げました。</p> <p style="text-align: center;"><b>自主研究グループ数 28グループ</b>  〔参加者数 216人  グループ活動回数 187回（約7回/グループ）〕</p> <p>後輩職員が、先輩職員（メンター）から、仕事の進め方や円滑なコミュニケーションについて学ぶ交流研修会を4回開催しました。後輩職員71人が参加し、先輩職員から仕事の能力や意欲向上等の悩みについてアドバイスを受けるとともに、仕事や生活面など様々な相談ができる関係を築きました。</p> <p style="text-align: center;"><b>メンターからアドバイスを受けた職員数 71人</b></p>
<p><b>○職員の実践的な語学力向上</b>  ・若手職員を対象に英語の「チャレンジ語学研修」を行い、職員の英語力を高め、県の情報の海外発信などに活用します。  (平成28年度 600点以上 累計191人  730点以上 累計89人)</p> <p style="text-align: center;"><b>TOEIC 600点以上 19人増 累計210人  うち TOEIC 730点以上 6人増 累計95人</b></p>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>若手職員を対象とした「チャレンジ語学研修」を実施し、ニュースのリスニングやディスカッションなどの演習を行いました。また、TOEIC特別団体受験、TOEIC対策学習会を実施しました。</p> <p>中部北陸9県の観光プロモーションを行う中央日本総合観光機構の県内視察通訳に2名、外国人留学生との異文化交流を行う英語カフェに2名の職員を派遣し、福井県の魅力についてプレゼンテーションを行いました。</p> <p>また、海外クルーズ客船の県内初寄港に際しては、英語力の高い職員5名が観光案内通訳を務めました。</p> <p style="text-align: center;"><b>TOEIC 600点以上 22人増 累計213人  うち TOEIC 730点以上 7人増 累計96人</b></p>

項目	実施結果																																			
<p><b>○職員の超過勤務の縮減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超過勤務の現状を定期的に把握し、業務の見直しや平準化を一層進め、超過勤務を縮減します。 (平成28年度 164時間)</li> </ul> <p style="text-align: right;">職員1人あたり年間超過勤務時間 160時間</p>	<p>[成果等] 目標にはいたりませんでした。</p> <p>1人当たりの超過勤務時間については、超過勤務の発生原因や全職員の超過勤務の状況を共有する企画幹会議を毎月開催し、業務分担の見直しなどにより長時間に及ぶ超過勤務の縮減に努めたものの、2月に発生した大雪の対応など、例年のない業務が発生したため、目標の達成にはいたりませんでした。</p> <p>なお、2月の大雪の際には、職員に対し、業務に支障のない範囲でボランティア休暇等を取得し、地域の一員として率先して除雪ボランティア活動を行うよう周知徹底を図り、2,758人が活動しました。</p> <p style="text-align: right;">平成29年度 1人当たりの年間超過勤務時間 171時間 (2月の大雪対応を除いた年間超過勤務時間) 159時間</p>																																			
<p><b>○県税など歳入確保と歳出合理化を進め、健全財政を堅持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内市町と協力して個人住民税の特別徴収の拡大を図るとともに、福井県地方税滞納整理機構による滞納整理を進め、県税の収入確保に努めます。 (平成28年度 98.4%)</li> </ul> <p style="text-align: right;">県税収入率(現滞計)年度末見込 98.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革実行プランに基づく歳入の確保、歳出の合理化・重点化を進め、健全な財政運営を堅持します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>財政指標</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>財政調整基金等の残高</td> <td style="text-align: right;">135億円</td> </tr> <tr> <td>県債残高(臨時財政対策債を除く)</td> <td style="text-align: right;">4,900億円</td> </tr> <tr> <td>地方財政健全化法に示す健全化判断比率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  実質赤字比率</td> <td style="text-align: right;">黒字</td> </tr> <tr> <td>  連結実質赤字比率</td> <td style="text-align: right;">黒字</td> </tr> <tr> <td>  実質公債費比率</td> <td style="text-align: right;">18%未満</td> </tr> <tr> <td>  将来負担比率</td> <td style="text-align: right;">170%未満</td> </tr> </table> </div>	財政調整基金等の残高	135億円	県債残高(臨時財政対策債を除く)	4,900億円	地方財政健全化法に示す健全化判断比率		実質赤字比率	黒字	連結実質赤字比率	黒字	実質公債費比率	18%未満	将来負担比率	170%未満	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>個人住民税の特別徴収については、強制指定の対象事業所を拡大しました。</p> <p>福井県地方税滞納整理機構では、約17億9千万円の滞納案件を引き受け、公平かつ厳正な滞納整理による収入確保に努めました。</p> <p style="text-align: right;">県税収入率(現滞計)年度末見込 98.1%</p> <p>県債や財政調整基金等の残高など財政指標のすべての項目について目標を達成しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>財政指標</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>財政調整基金残高</td> <td style="text-align: right;">年度末見込</td> <td style="text-align: right;">136億円</td> </tr> <tr> <td>県債残高</td> <td style="text-align: right;">年度末見込</td> <td style="text-align: right;">4,851億円</td> </tr> <tr> <td>地方財政健全化法に示す健全化判断比率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  実質赤字比率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">黒字</td> </tr> <tr> <td>  連結実質赤字比率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">黒字</td> </tr> <tr> <td>  実質公債費比率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">13.8%</td> </tr> <tr> <td>  将来負担比率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">164.9%</td> </tr> </table> </div>	財政調整基金残高	年度末見込	136億円	県債残高	年度末見込	4,851億円	地方財政健全化法に示す健全化判断比率			実質赤字比率		黒字	連結実質赤字比率		黒字	実質公債費比率		13.8%	将来負担比率		164.9%
財政調整基金等の残高	135億円																																			
県債残高(臨時財政対策債を除く)	4,900億円																																			
地方財政健全化法に示す健全化判断比率																																				
実質赤字比率	黒字																																			
連結実質赤字比率	黒字																																			
実質公債費比率	18%未満																																			
将来負担比率	170%未満																																			
財政調整基金残高	年度末見込	136億円																																		
県債残高	年度末見込	4,851億円																																		
地方財政健全化法に示す健全化判断比率																																				
実質赤字比率		黒字																																		
連結実質赤字比率		黒字																																		
実質公債費比率		13.8%																																		
将来負担比率		164.9%																																		
<p><b>○SNS等を活用した国内外への情報発信【部局連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSや動画作成の専任職員が福井の魅力を分かりやすく国内外へ発信します。また、国外向けとして、これまでの英語圏に加え、県上海事務所と共動して中国にも発信していきます。</li> </ul>	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県外発信を担当する専任職員および海外発信を担当する国際交流員が、観光や産業、イベント情報などについて、現地での取材を基に、SNS(フェイスブック、インスタグラム)を週3回以上、動画(ユー・チューブ)を月1回発信しました。</p> <p>10月からは、県上海事務所と連携し、中国版SNS「微信(ウェイシン)」を利用した中国向けの情報発信を新たに開始しました。</p>																																			

項目	実施結果
<p>○<b>県有財産の計画的な管理【部局連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延床面積1,000㎡以上の177施設について、建物性能や利用状況の実態把握および長寿命化を図るための長期保全計画（修繕計画）の策定を行います。</li> <li>県有地の売却・利活用にあたっては、まちづくりや景観等への影響に配慮しながら、他部局と連携し適切に進めていきます。</li> </ul>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>延床面積1,000㎡以上の施設のうち、廃止や改修が決定しているものを除くすべての施設（170施設）について、各施設管理者が長期保全計画（修繕計画）を策定しました。</p> <p>関係部局と連携し、まちづくりや景観等に配慮しながら県有地の管理を行いました。</p>
<p>◇<b>県民に「よくわかる県政」の実現</b></p> <p>○<b>広報・広聴の密度を高める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県政の動きを即時に伝えるフェイスブック「ほやほや！ふくい」登録者の一層の拡大を図り、より多くの県民に広報します。 （平成28年度 累計2,125件）</li> </ul> <p>「ほやほや！ふくい」登録件数 500件増 累計2,625件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や職場等に職員が出向き、県民の方々に県施策を直接説明する「よくわかる県政出前トーク」を開催し、施策への理解を深めます。 （平成28年度 累計520件）</li> </ul> <p>「よくわかる県政出前トーク」開催件数 380件増 累計900件</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>県政のトピックスや県関連のイベント、食などに関する情報をほぼ毎日発信し、タイムリーな県政情報の提供に努めました。 特に今年度は「いちほまれ」について、名称、ロゴ・パッケージの決定から試験販売開始に至るニュースをきめ細かに広報しました。</p> <p>「ほやほや！ふくい」登録件数 537件増 2,662件</p> <p>県内各地の公民館や学校などに職員が出向いて、重要施策等の説明を行い、県政への理解促進に努めました。</p> <p>「よくわかる県政出前トーク」開催件数 395件増 累計915件</p>
<p>◇ <b>行財政構造改革による財源の確保</b></p> <p>○ <b>150億円の「政策推進枠予算」を確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業の見直しや歳出の合理化等により、政策推進枠予算の財源を確保します。 （平成28年度 累計114億円）</li> </ul> <p>政策推進枠予算 36億円増 累計150億円</p>	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>事務事業の見直しにより約19億円、基金の有効活用により約7億円、その他効率的な事務・事業の執行管理などにより、合わせて36億円の財源を確保しました。</p> <p>政策推進枠予算 36億円増 累計150億円</p>

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。（例：成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの）
- ・目標を達成しました。（例：成果が目標どおり達成されたもの）
- ・目標を一部達成しませんでした。（例：成果の一部が目標に及ばなかったもの）
- ・目標にはいたりませんでした。（例：成果が目標に及ばなかったもの）
- ・引き続き実施します。（例：成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの）